

2月3日、令和元年度農業後継者激励者会を開催しました。

この激励者会は、卒業予定者のなかで農業関係に進む生徒に対して、今後の活躍を祈念し激励する会です。

ご来賓として、県央振興局農林部、県立農業大学校、西海市農業委員会、長崎県農業会議の皆様に来ていただきました。また、県内の農業法人のなかでリーダーシップを発揮されている中村大介さん(ながさき南部生産組合)に「いのちの農業」～本物の農業を次代へ～のテーマで講演もしていただきました。

今年度の生徒は施設園芸科3年生6名で、農業自営1名、農業大学校進学2名、農業関連会社就職3名が激励を受けました。最後の代表生徒決意表明では、農業大学校花き学科に進学する山内一海君が「農業を取り巻く環境はきびしいからこそ農業に取り組む意義があると思い、これからビジョンをもって取り組みたい」と決意していました。



ながさき南部生産組合代表理事
中村大介 さん



決意表明した山内一海 君



食料サイエンス科1，2年生も応援